

計画素案(体系図)に対する意見

1. 基本理念について

- ・「佐渡市総合計画」で掲げる“持続可能な島”は基本理念には欠かせないと思う。従って、「健やかで思いやりのあふれる持続可能なまちづくり」とされたい。
- ・「健やかで思いやりのあふれるまちづくり」は綺麗な言葉と柔らかい言葉で表現されているが、人々の心に訴える力強さがないため、心に残らず何をしようとしているのかイメージが掴み難い。
- ・「尊重」「自立」「支え合い」「安心な街」等の言葉を使い表現した方がよいと思う。
例：「誰もが尊重され、自立し、互いに支え合う安心な街」

2. 計画（素案）の内容について

◆第2章 地域福祉を取り巻く現状と課題

- ・必要なデータは確実に掲載し、分析を行うことによって、今後の対応策に繋がることから検討をお願いしたい。
- ・重層的、包括的な支援体制の構築にはデジタル化施策が欠かせない。コロナ禍により福祉活動がやや停滞した原因の一つに、ICT 活用が脆弱だったこともある。連携方法の見直し・利用しやすい環境づくりの柱として、デジタル化を取り入れることによって、かなりの部分が実現すると考えている。デジタル化による施策の迅速化等々の文言を入れて欲しい。

◆第3章 計画の基本理念と基本方針、施策の体系

○基本方針 1

- ・1-(1)「ご近所・地域における支え合い活動の推進」に変更する。支え合いの基本は隣同士（向こう三軒両隣）であり、具体的に考えを示せる。
- ・1-(5)「ボランティア活動の参加推進と育成促進」を追加する。
高齢化が益々進展する時代を迎え、また異常気象下の災害等を考えるとボランティア活動の重要性は増すことから1項目追加した方がよいと考える。

○基本方針 2

- ・重層的、包括的な相談支援体制の構築と解決機能の強化とあるが、抽象的で分かりにくいので、項目を分解する等を考慮されたい。
その中の1項として、市役所は縦割りの垣根を取り払い、関係する事業所、自治会は組織の壁を乗り越えて体制を構築する旨の文言を検討し項を起こすとともに、デジタル化の活用も触れて欲しい。
- ・「わかりやすくアクセスしやすい情報提供」を追加する。
情報が希薄だと相談ができない。佐渡市 LINE ツール等々身近な情報発信も可能となっており、デジタル化も含めて必要な情報を市民に提供すべきである。